

# [江別市] 施策達成度報告書

**政策** 04 安全で快適な都市生活の充実

**施策** 02 交通環境の充実

主管課 都市計画課

## 施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (24年度)	施策の課題 (24年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道央都市圏における望ましい交通体系の姿を示した都市交通マスタープランが策定され、だれもが安全、安心して暮らせる利便性の高い交通環境や、環境にやさしく都市を支える交通環境など、計画実現に向けた取り組みが求められています。</li> <li>・道路整備や道路の環境整備は、人口減少や高齢化の進行などによる社会経済環境の変化などから、財源的に厳しい状況におかれています。</li> <li>・地球温暖化防止など環境負荷の低減に向け、交通が渋滞することにより排出される排気ガスを抑えるため、道路交通の円滑化など環境にやさしい交通環境の構築が求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や高齢化社会への移行に伴い、都市の中心に人も施設も各種機能も集まったコンパクトな都市づくりが求められており、交通体系についても市内アクセスの向上など都市機能を高める検討が必要となっています。</li> <li>・高齢者等の交通弱者の交通利便性を向上させることが課題となっています。</li> <li>・冬期の交通環境を充実させるために、市民、事業者との協働による取り組みが必要となっています。</li> </ul>

## 施策の目的

交通環境を充実させることにより、市内・市外の移動を円滑にし、市民の安全性・利便性・快適性を高めます。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民及び道路利用者

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

円滑な移動を可能にし、市民の安全性・利便性・快適性を高める。

## 施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
市内の移動に困らない市民割合	%	79.6	-	77.8	78.6	↗
市外への移動に困らない市民割合	%	79.0	-	77.2	79.0	↗

## 施策の達成状況 (24年度)

交通環境の充実に対する達成状況は、「市内の移動に困らない市民割合」、「市外への移動に困らない市民割合」ともに横ばいであり、バス利用者の減少傾向や2月と3月に大雪と暴風雪に見舞われ、また、市内の道路等の老朽化の進行による不具合件数も増加傾向にあるなど交通環境には厳しい状況であったが、公共交通に関する改善策等の検討を進めて行くことや、冬期間の道路交通の確保と道路再整備等による交通環境の充実に努めたことで、市内外の移動の円滑化が維持されているものと推察されます。

施策事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	2,156,344	2,066,476	1,974,992
事業費(千円)	1,995,018	1,894,128	1,800,172
人件費(千円)	161,326	172,348	174,820

## 01 安全で快適な道路づくり

### 基本事業の目的

道路を整備・改修・維持することにより、安全で快適に通行できるようにします。また、放置自転車対策などを行うことにより人に優しい歩行者空間を確保します。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、道路利用者

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

道路利用者が、安全で快適に通行できる交通環境を確保するとともに、人に優しい歩行者空間を確保する。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
安全で快適に移動できると感じる市民割合	%	71.1	-	69.1	69.0	↗
道路維持管理上の不具合件数	件	513	627	823	956	400

### 基本事業の達成状況 (24年度)

・市内の道路等は、全体的に老朽化が進行しているため、また、市民が求める市民ニーズも多様化していることから、道路維持管理上の不具合件数も増加傾向にあります。  
 ・安全で快適に移動できると感じる市民割合は、初期値(19年度)71.1%に対して、平成24年度が69.0%とほぼ横ばい傾向です。このことから、道路パトロール体制の強化ときめ細かな巡回による道路維持に努めるとともに、必要に応じて再整備、改修を実施し、安全で快適に通行できる交通環境の確保に努めます。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,041,259	945,262	1,112,249
事業費(千円)	983,070	885,542	1,036,522
人件費(千円)	58,189	59,720	75,727

## 02 克雪による道路環境の整備

### 基本事業の目的

行政と市民、事業者が協働で除排雪に取り組むことにより冬期間の交通を確保し、円滑な冬の移動を確保します。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、道路利用者

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

冬期間の交通の確保や、置雪問題など行政と市民が協働で快適な冬の生活を確保し、社会・経済活動を支援する。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
雪対策が充実していると思う市民割合	%	44.6	-	43.1	41.3	↗

### 基本事業の達成状況 (24年度)

2月、3月は例年にないの大雪、暴風雪により、成果指標は減少しているが、異常時の対応として、一部日中の除雪を行い交通を確保し、また、幹線道路及びバス路線の排雪及び市民と協働で実施する自治会排雪などにより、快適な冬の交通環境の確保に努めています。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,002,498	994,357	748,658
事業費(千円)	982,834	976,321	730,934
人件費(千円)	19,664	18,036	17,724

基本事業の目的

日常の移動交通手段を充実させることで、市民の移動を便利にします。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、既存バス事業者、新規参入交通事業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

住居系地域における移動交通手段への利便性の確保

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
交通手段が充実していると思う市民割合	%	71.3	-	67.5	71.0	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

交通手段が充実していると思う市民割合は横ばいの状況であるが、バス利用者数は減少傾向が続いている。H24年度に実施した公共交通に関する市民アンケート調査等による実態や課題等を踏まえ、公共交通検討会議において、改善方策等の検討を進めて行くこととしています。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	9,005	20,773	20,929
事業費(千円)	4,591	7,145	7,233
人件費(千円)	4,414	13,628	13,696

基本事業の目的

対象 (誰を対象とした指標か)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	年度	年度	年度	後期目標値

基本事業の達成状況

基本事業コスト	年度決算額	年度決算額	年度当初予算
トータルコスト(千円)			
事業費(千円)			
人件費(千円)			